

第38回札幌消費者大会 参加報告

< 概要 >

日時 平成18年10月26日(木) 10:00~16:30

場所 札幌エルプラザ3Fホール 他

大会テーマ 「住まいの安全・安心」

~あなたのお家を再チェック!みんなで学ぼう住まいの安全~

大会次第

午前の部 住まいの無料相談会

午後の部 大会

基調講演 「建築基準法が要求している耐震性能と居住者の対応」

講師 工学博士・北海道大学名誉教授 城 攻氏

パネルディスカッション 「住まいの安全・安心の確保に向けて」

コーディネーター 北海道新聞社編集局編集委員 前川 公美夫氏

パネリスト 工学博士・北海道大学名誉教授 城 攻氏

弁護士・欠陥住宅北海道ネット 石川 和弘氏

一級建築士・アルコム計画工房主宰 染谷 哲行氏

(社)札幌消費者協会相談課主任 舘山 佳世子氏

10月26日エルプラザにて第38回札幌消費者大会が開催され、住まいのプラットフォームは協賛として参加し、あわせて住まいの無料相談会を行いました。



大会の午前中に行われた無料相談会では、事前募集に応募されていた7組の相談者の方々が会場に訪れました。ご相談内容は住宅の不具合や、マンション購入、ローンについてなどさまざまで、相談者の方々はそれぞれのご相談内容に応じた相談員がお話する明らかにすべき問題点やアドバイス等に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。一組45分という限られた時間ではありましたが、ご相談者皆さんの問題解決にむけての第一歩になったのではないかと思います。

お昼を挟み、約120名の参加者のもと行われた大会では、まず大会長、各来賓挨拶、来賓紹介の後、大会前に(社)札幌消費者協会によって実施された「住まいの安全・安心に関するアンケート」の結果について同協会理事奥谷直子氏よりお話がありました。調査の

内容は自宅の耐震性についての考え方や、自宅が住みにくくなった場合の対応などで、それによると多くの人が土地の地盤調査をしておらず、自宅の耐震強度に不安を感じているということでした。また、住まいをリフォームする際にほしい情報として、回答者の35%が「全般について相談できる窓口がほしい」と回答をされていました。



続いて行われた基調講演では、「絶対に壊れない建物を造ることは出来るのか」というサブテーマのもと、北海道大学名誉教授である城攻氏が建築構造設計の考え方や、構造性能、



耐震性能などについてご講演されました。構造設計は建築を生業としない方々にはとても難しいものですが、城氏のペットボトルを使った簡単な実験やスライドを利用したお話はとても分かりやすく、会場からはときおり笑い声がおこるなど和やかな雰囲気の中、参加者の皆さんは建物の構造についての基本的な知識を学ばれたようでした。

講演後のパネルディスカッションでは、パネリストの方々がそれぞれの立場から見た今回のテーマに対する考え方や実例を交えたお話、また各パネリストの意見交換などが行われました。リフォーム被害に遭われるほとんどの方が高齢者で、その方々を社会としてどう守るか、また実際に被害に遭われた経験から行政や建築士に何を望むかなどのお話は会場に皆さんにとってご自身のお住まいの安心、安全に対する考え方の参考になったのではないかと思います。